

アスパラガス栽培管理 (R5.12.)

(有) 丸 富

11月は徐々に冷え込んできたものの、日中は日差しが強く、ハウス内は暑い日が多かった。全般的に干ばつ傾向で暖かかった。生育は管理により差が大きく、全体的に黄化が遅れた。各地で害虫が多かった。

黄化促進

黄化を促進するために、ハウスを開放して出来る限り、低温に遭遇させる。

黄化促進に**酸カル 1,000 倍**と**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を葉面散布、又は、防除時に混用散布する。

全刈り

茎葉の養分が貯蔵根（地下茎）に十分転流して、貯蔵根の糖度が20度くらいまで上がったなら、全刈りを行う。貯蔵養分が十分に根に蓄積される前に全刈りを行うと、翌年の春芽の収穫に影響を及ぼす。

土づくり

作物づくりは土づくりで決まる！と言っても過言ではないが、作物が土から吸収した養分を、毎年土に戻せば良い。作物はあらゆる養分を吸収するので、偏った養分補給ではなく、少しずつ数多くの養分を施すことが大切。

低温要求量

ビニルハウス内は露地とは異なり、低温遭遇時間が少なく、低温要求量を満たさないことが多くなっている。出来る限り換気を行い、ハウス内を冷やして低温遭遇時間を増やすよう心がける。

病害対策

欠株になって、残っている残渣は取り除く。出来る限り、アロパシ物質を除去する。

欠株を取り除き、掘り起こした土に**ハイプロ**を**10%**混ぜて、埋め戻す。その土に**酸カル 500 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を散布する。

追肥(液肥)

土壌環境、並びに年数、根の働きによっても増減する。

プロ液肥 0.5~1ℓ / 10a

時を越えた贈り物 100~200 cc / 10a

サンミネーラ 50 cc / 10a

パイオア外 TS (又はストップ-雅) 50cc (100cc) / 10a

5~10日ごとに灌水する場合

※収穫量や土壌条件、天候によって加減する。

※サンミネーラの代わりにシカアップ 100~150 cc、天然ミネラル 100~200 cc、海藻のエキス 50gでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 0942 - 65 - 0123 (TEL)

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付) 携帯 090-3328-7603 (富松まで)